

令和 6 年度 第 2 回 練馬区立中学校部活動在り方検討委員会

1 開会

2 他自治体の事例について

○事務局の説明

- ・資料 1 を用いて説明

(1) 江東区

- ・指導員配置＋練習会等の実施
- ・休日のみ地域の指導者が指導 ・プロチームなどと連携した練習会の実施

(2) 渋谷区

- ・委託事業者による地域クラブ活動（既存の部活動は維持）
- ・ユナイテッドクラブの運営による休日地域クラブ活動の実施（料理、将棋等）

(3) 日野市

- ・委託事業者による地域クラブ活動（既存の部活動は維持）
- ・スポーツデータバンク（株）の運営による休日地域クラブ活動の実施

(4) 板橋区

- ・行政主導の地域クラブ活動（既存の部活動は維持）
- ・いたばし地域クラブの運営による休日地域クラブ活動の実施

(5) 港区

- ・委託による指導員配置＋拠点校による地域活動
- ・拠点の中学校ごとに各種目の地域部活動を実施

(6) 八王子市

- ・部活動の縮小＋地域活動の紹介
- ・各中学校で部活動を重点化 ⇒ その他の部活動の停止
- ・地域のクラブ活動等を紹介

3 意見交換

○主な意見

- ・現在、大泉西中学校と SSC 大泉で連携した活動を夕方以降に実施している。現在は受益者負担である。
- ・今後の実施にあたり、区としての方針を早めに確定し、人材や予算の確保をしていくべきである。
- ・練馬には人材豊富だが、どんどん他地区の部活動地域移行に人が流れていっている。
- ・今ある部活動を減らしていかなければ維持は難しい。
- ・学校から切り離した持続可能な休日の活動のあり方を、区として考えていかなければならない。

- ・江東区の取組は取り組みやすいと感じる。大西中と SSC との関係も理想的である。
- ・部活動指導員の確保等に向け、地域への周知をより行っていく必要がある。

#### 4 事務連絡

- ・第 3 回では、地域移行のモデル試行案について提示する予定である。

#### 5 閉会